

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R1.5.21
記録者	芹澤

日時	R1.5.21 13:00~15:00	出席者	染川、野口、武長、相良、伊藤、佐貫、成塚、芹澤、
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題

1. 会長報告
2. 副会長・委員会報告
3. 各理事・委員会報告
4. その他

会議内容

1. 会長報告

- 蕨戸田医師会の整形外科医会講演会に後援という形で協力していく。理事に異議なし。
- 国保運営協議会に出席。昨年より国保が市の運営から広域になったが、戸田市は市民一人当たりの医療費が高く、分担金が多い。ただし、今までの低すぎたという側面もあり、今後も赤字の解消に努めていくとの事。
- 事業報告及び事業計画(案)の作成を各理事に指示。

2. 副会長・委員会報告

武長副会長より

- 学校薬剤師として今回水道水の検査を各学校で実施。
- 薬物乱用防止活動に関し、川口、戸田、蕨三市で3年に1回持ち回りで啓蒙活動を実施。戸田市は健康福祉の杜祭りの時にティッシュ配り等の啓蒙活動を行うとの事。
- 薬剤師連盟の総会に参加。内山会長、藤井監査役が交代するとの事。

野口副会長より

- 危機管理委員会として、連絡網の整備、災害拠点薬局として第一薬局の固定化を進めているが、課題も多い。県や市は「地震」を想定しているが、それに伴う「水害」に対してどんな対策が立てられるのか？といった事や他団体における人的不足等の課題が浮き彫りになっている。
- 在宅委員会としては、今後他職種との連携にも注力していく、との事。
- 給食センターと会談を持ち、その内容の覚書を交わした。

給食室の衛生管理に関する助言指導業務についての覚書

戸田市教育委員会学校給食課（以下甲）管轄の給食室の衛生管理に関する助言指導業務について、一般社団法人戸田市薬剤師会（以下乙）は、担当学校薬剤師に対し下記の通りに施すように指導する。変更の必要があるときは甲、乙両者で協議する。

また、甲は、担当学校薬剤師の助言指導により損害が生じた場合にも、乙および担当学校薬剤師に賠償を求めない。

記

- 年に二回、食器の洗浄状態を検査する。
- 年に一回、給食室に入室し、施設、設備および運用状況を把握する。
- 定期および日常の衛生検査の実施記録が適正に記録されているか確認する。
- その他、学校施設職員の求めに応じ、給食室の衛生管理について助言する。

以上

令和元年5月17日

甲 戸田市教育委員会学校給食課 課長 小須田 始



乙 一般社団法人 戸田市薬剤師会 会長 染川智行



3. 各理事委員会報告

伊藤理事より

- 戸田中央総合病院薬剤科長が鈴木先生から福田先生にかわり、5/21 に薬薬連携の会を開催する。

佐貫理事より

- イオンでのセルフメディケーション実習について、第2期から管理薬剤師が変更になったが、実施する予定。
- 薬剤師会のイベントは佐貫委員長に案内を行う。夜の時間帯の学術講演会は本人の希望次第だが、参加の場合は大学へも報告する。
- 県薬からの実務実習についての要望について、1施設に複数の指導薬剤師を作るよりも新規の施設を増やしていく方向性である、との事。待機者はそれにより優先順位が変わってくる。

成塚広報委員長より

- HPはスマホ対応との前回の理事会での決定もあり見積りをしてみたが、大幅な予算オーバーであった。しかし、HPがよくできていて攻撃のリスクにさらされている現在、更新もままならない状況である。是非SSLを導入し、セキュリティレベルをあげる必要がある。

芹澤総務委員長より

- アサカ薬局様管理薬剤師の交代があります。
- 戸田市健康福祉祭りの日程が決まり参加の意思を示す文書を提出済。10/6(日)
- 学術研修委員長より、アンケート結果をふまえワークショップを今後開けるように取り組んでいくとの事を伝達。

決定事項

- 学校薬剤師の中で、給食に関する助言と指導について市の教育委員会給食課との合意
-

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師委員会組織と規約、新人の発掘育成。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。危機管理の継続協議
- 実習生の参加できる薬剤師会事業
- デットストックの会員薬局間の取引
- 連絡網の整備